

平成30年第1回定例会

(会期 2月27日～3月23日)

2

月27日から第1回定例会が開かれました。

今定例会では、諮問1件、サイクリングハブ施設条例の制定など50議案が上程され、慎重に審議を行い、それぞれ可決しました。また、最終日には委員会発議による発議1件、意見書1件を可決しました。

5日と6日の2日間にわたり、行われた一般質問には、8人の議員が登壇し、執行部と活発な論戦を展開しました。
(9～17ページ参照)

今定例会には、延べ28人の方々が傍聴に訪れました。

豊後大野市サイクリングハブ施設条例の制定

道の駅おおのの隣にサイクリングハブ施設を設置

市 内でサイクリング等を楽しむ者に対して、良好な休憩の場を提供することで広域的な交流を促進し、地域活性化を図る拠点施設として、サイクリングハブ施設を設置するものです。



バイオマスボイラー

施設の電力や足湯の熱源として、太陽光自家発電設備や竹チップを燃料とするバイオマスボイラーを設置。再生可能エネルギーの普及啓発事業とも連携した事業として、賑わいの場の創出による地域の活性化も目的としています。



バイオマスボイラーを使った足湯

県道57号の周辺部対策の一つとして、自転車愛好家を主なターゲットに、本市への集客を目指すもので、完成後は拠点施設から市内道の駅や観光地などへの周遊ルートの提案や、ロードレース大会等の開催も視野に入れ、今後の交流人口の増加も期待されます。

豊後大野市中小企業・小規模企業活性化基本条例の制定

中小企業・小規模企業の活性化を市制の重要施策の一つとして位置付け、条例を制定

本市の中小企業・小規模企業の振興に関し、基本理念や市の責務等を定めることで、中小企業・小規模企業の活性化を図り、本市経済の持続的な発展等に寄与することを目的として条例を制定するものです。



豊後大野市保健センター条例の廃止

千歳保健センターを千歳公民館機能の一部として活用



千歳支所と千歳公民館の再整備に伴い、千歳保健センターを廃止して、千歳公民館機能の一部として活用したいので、条例を廃止するものです。

人権擁護委員候補者の推薦

衛藤 玲子 氏

【大野町】

任期 自：平成 30 年 7 月 1 日
至：平成 33 年 6 月 30 日

適任

公平委員会委員の選任

安部 一彦 氏

【三重町】

任期 自：平成 30 年 4 月 1 日
至：平成 34 年 3 月 31 日

固定資産評価審査委員会委員の選任

麻生 誠一 氏

【清川町】

任期 自：平成 30 年 4 月 1 日
至：平成 33 年 3 月 31 日

同意

人事案件